

藤棚新聞



第72号
2020年(令和2年)
10月20日
偶数月発行
フリーペーパー

スポーツ活動を支えてきた「平沼記念レストハウス」

58年の活動に幕を下ろす



平沼記念レストハウスで、古武術を
披露する平沼五郎成基さん

9月6日、平沼記念レストハウスは閉館を迎え「最後の時間を過ごす会」が行われました。同館は、横浜文化体育館（通称：文体）とともに1962（昭和37）年に開館し、58年間にわたり市民のスポーツ活動を支えてきました。

同館の名前の由来となった平沼亮三氏は、15代・16代横浜市長で、日本体操協会会長などを務め、スポーツ市長として大変親しまれました。

この日、平沼亮三氏のひ孫にあたる平沼五郎成基さんと、横浜市体操協会名誉会長の山村徳男さんによるトークセッションが行われ、平沼五郎成基さんは平沼亮三氏について「スポーツを通じた社会貢献に奔走した人だと伺っています。様々なスポーツを嗜み、日常にスポーツのある生活を送っていることは、先祖代々受け継がれています」と話しました。

平沼五郎成基さんが語る平沼のまちづくり

9月14日、藤棚商店街のテーブルドートで、平沼五郎成基さんにお話を伺いました。平沼さんは西区在住で、平沼に職場を構えています。1839（天保10）年のころより、3代にわたり帷子川河口の遠浅の海を開拓した平沼九兵衛の子孫にあたります。先祖代々、平沼の地で事業を営んできた平沼さんは地元のまちづくりについて「栄えているまちは、子どもがいるまちです。今いる単身者と共存を図りつつ、かつ不要なワンルームマンションの乱立を防ぎながら、ファミリーが長く暮らせる場所やコミュニティづくりのために自分ができるアクションを続けていきたい」と、力強く語ってくれました。

最後に、「会社経営は地域とのキャッチボールです。今までに地域からたくさんの恩恵を受けてきました。今度は自分がボールを返す番だと思っています」と地域と共存する決意を話してくれました。



ふじなちゃんの散歩道

もくせい公園から
お茶会へ

きれいになったもくせい公園を歩いてから、近くにある茶房「一煎」で歓談しました。

日本茶インストラクターの店主・井上香織さんは客に茶葉を見せながらお茶の貴重さを伝えます。

営業：毎月第4土曜日 11:00~17:00

Tel：090-8812-1058

E-mail：kaori1058inoue@gmail.com



サムライ業のしごと① <サムライ業って何?>

街を散歩していると、西区に限らず「〇〇士事務所」という看板を見かけることはありませんか？

〇〇士というのは武士の「士」にちなんで、いわゆる「サムライ業」とよばれる人達のことですが、この「サムライ業」と呼ばれる仕事の分類が、一般の方々には非常に分かりづらいというのも事実です。また「FP 技能士」など横文字の士業もあります。

「どんな場合に、どの専門家に依頼すればよいのか迷うんだよね」という街の声にお答えするかたちで、全3回の記事に分けてご紹介します。

まず、前提として士業に関する業務はその専門の士業に依頼しなければならない、とお考えの方は多くいらっしゃると思います。たとえば、訴訟を起こすなら、必ず弁護士に頼まなければならないと思っている方は結構いますが、訴訟はご自身で起こすことができます(本人訴訟といいます)。弁護士に頼まなくても、ご自身で裁判所へ出向いて手続きをすれば訴訟を提起し、出廷し、裁判で相手方と争うことができます。しかし、相手方が法律のプロである弁護士の場合、素人が勝負を挑んでも勝つのはむずかしいことが多いので、通常

は弁護士に依頼します。つまり「やろうと思えば自分でもできるが、ノウハウがなく、時間も手間もかかるので、その領域の専門家に依頼したほうが自身の利益になる」場合にはじめて士業に依頼する必要性が出てくるわけです。

わが藤棚新聞編集部には前述のFP(しかも1級!!)を持つ編集員がおりますので、次回はFPの資格について詳しく語ってもらおうと思います。



横浜地方裁判所と
横浜簡易裁判所



京急ミュージアムの建物

京急ミュージアム本社

みなとみらいへ移転してもうすぐ1年

コロナ対策注力して京急ミュージアム再開

京急電鉄は営業開始から約120年。その周年行事の一環として2019年9月、泉岳寺からみなとみらいに本社が移転してきました。

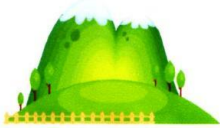
現在の京急大師線の一部から始まった京急電鉄は、今から約90年前、浦賀から日ノ出町まで延伸していた湘南電気鉄道と野毛山で接続しました。この出来事は京急線の骨格を形作ることとなります。横浜・み

なとみらいのこの地は、京急電鉄にとって重要な場所であるようです。京急戸部駅はこの直通運転開始と同時に開業しました。藤棚町に市電が走っていた頃、商店街は今とはまた違った賑やかさを見せていたことでしょう。

2019年からは京急オープントップバスも運行を開始しています。屋根の無い二階建てバスからの横浜観光はコロナ禍においても喜ばれそうです。

更に2020年1月末には本社一階に京急ミュージアムをオープン。新型コロナウイルスの影響により一時閉鎖していましたが、7月より徐々に営業を再開しています。現在は整理券方式の入れ替え制になっています。最新情報はホームページでご確認を。感染対策を万全にして、みなとみらいの秋を楽しみましょう。

昔と今



残しておきたい大谷卓雄さんの貴重な収集品



岩亀横町の歩行者天国(昭和46年)

ここに貴重な写真があります。写真左は昭和46年岩亀横丁で昼時に行っていた歩行者天国を戸部通りに住んでいる大塚眞司さんが何気なく撮ったものです。それを本牧に住んでいる大谷卓雄さんが複写して保存していたそうです。写真左下は岩亀横丁で酒場を経営する「常盤木」さんのご家族です。

大谷さんの場合は自称面白コレクターとして、写真、パンフレット、地図、名簿等を集めるのが趣味で、あとでわかりやすいように地域別に整理しています。もっと深く知りたい場合は図書館で調べて、必要なところをコピーして

貼り付けます。その集めた資料をもとに整理して、本牧地区センターで「地域にまつわる歴史」等について30回程度講義を行ったこともあります。大谷さんはいろんな方から新しい収集品をいただくと心ウキウキします。

この岩亀横丁にはかつて岩亀楼の遊女が信仰すると病を治してくれると言われていた岩亀稲荷があり、毎年5月25日に例祭を行うなど近所の方々に大切に守られています。



現在の岩亀横丁

この写真の一番奥がかつての三菱重工横浜造船所で、みなとみら



当時の酒場「常盤木」

「歩行者天国」と「常盤木」の写真は、大谷卓雄さん提供

い地区の造船所、大型船を一望にする場所がありました。今では大型商業施設や高層のオフィスビルが立ち並ぶ新しい街の風景が視界に飛び込んできます。

仕事を終えた従業員は下駄の音を鳴らしながら酒場に向かい、くつろぎます。戸部通り、岩亀横丁の端から端までお店なので「ドックの城下町」と言われていました。しかし造船所が無くなると伊勢町、戸部町等に住んでいた従業員が街から離れ、料亭、見番(置屋)の灯も消えてしまいました。岩亀横丁で生まれ育ち、現在の酒場「常盤木」を経営するご主人は「毎年、戸部大通り商店会で行っているプロレスリングショーは、今年コロナの影響で中止となりましたが、形を変えて復活します」と力強く話してくれました。

＊読者の皆様へ＊

上記の写真をご覧になって、思い出や感想を下記までお寄せください。

藤棚新聞
藤川幹夫
090-6182-919

楽しい縁日

8月9日、コロナも吹き飛ばす元気で、楽しい縁日が藤棚のターブルドート主催で開催されました。

本紙、藤原記者もヨーヨーの販売で参加しました。



写真は境野文子さん提供



こんにちは、グループ!

ヒッポファミリークラブ

多言語で世界に開かれた心を育もうと親子で一緒にできる活動を始めたグループがあります。

ヒッポファミリークラブ、会場の藤棚地区センターに集まったのは若い親子から記者のような高齢な人まで、年齢制限はありません。何組かの親子がいろいろな国の言葉で自己紹介したり、音楽に合わせて踊ったり、ゲームをしたりと楽しく過ごします。記者も小さなこどもの手振り身振りを真似て踊って、耳に入るまったく知らない国の言葉も音楽のようです。

代表の西区在住の池谷奈々子さんは、「多世代、多言語、多様性の活動を自分の住んでいる地域と一緒に楽しんでくれる仲間に出会いたい」と言います。

11/20(金)、11/22(日)は親子で参加できるワークショップを10:00~11:30で開催します。

お申し込みとお問い合わせは、一般財団法人言語交流研究所 研究員で 藤棚地区センター担当の池谷奈々子さんまで。

Tel: 090-4062-9131 写真提供も池谷奈々子さん



横浜市民ギャラリー展覧会 2020年11月~12月

●港の作家小品展(第34回)

10/27~11/2 11:00~17:00

初日は13:00から、最終日は13:00まで

●第76回ハマ展

11/4~11/14 10:00~18:00

●第32回 雨聲会 横浜書展

11/25~11/29 10:00~18:00

●第50回世界児童画展 神奈川県展

11/28~11/29 10:00~18:00

最終日は15:00まで

<お願い> 新型コロナウイルスの影響により、展覧会が中止・延期になることがあります。ご来館前に横浜市民ギャラリーのHPまたは電話にて最新情報をご確認ください。

<お問合せ先> 横浜市民ギャラリー(公益財団法人

横浜市芸術文化振興財団/

西田装美株式会社 共同事業体)

〒220-0031 横浜市西区宮崎町26番地1

TEL 045-315-2828

FAX 045-315-3033



●畑のグレー

10/28~11/1 10:00~18:00

●第33回 神奈川書家三十人展

11/25~11/29 10:00~18:00

●Art School+Yokohama Student Exhibition. No.7

11/25~11/29 10:00~18:00

最終日は16:00まで

●第57回 神奈川県高等学校書道展

12/9~12/13 10:00~18:00

最終日は16:00まで

小学1年生~高校3年生対象 入室テストはありません

80分無料体験授業 実施中!

まずは京進スクールワンのよさを実感してください。*小学1~3年生は40分授業です。

さあ! 君もこの藤棚新聞を持って 藤棚郵便局斜め前の教室へGO!

特別招待状

個別指導京進スクールワン

小学1年生から 高校3年生 全科目対応!

戸部藤棚教室 TEL 045-594-7326

藤棚新聞では、ただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp

【ホームページ】<https://fujidananews.jimdofree.com/>